

2025 年 6 月 21 日

KYT(危険予知トレーニング)

林 但

危険予知訓練は、作業や職場にひそむ危険性や有害性等の危険要因を発見し解決する能力を高める手法です。ローマ字のKYTは、危険のK、予知のY、訓練(トレーニング)のTをとったものです。

今では会社だけでなく野外体験活動、色々な活動などでも活用されています。私がボランティアで参加している猿島公園専門ガイド協会では 8 年くらい前から行っています。

危険予知訓練は、1970 年代半ばに経団連の欧州視察に出向いた方(私の会社も)が中心に開発されたもので、中央労働災害防止協会が職場のさまざまな問題を解決するための手法である。問題解決4ラウンド法と結びつけ、さらにその後、伝統的な安全確認手法である指差し呼称を組み合わせた「KYT4 ラウンド法」としたものが標準とされています。

KYTの基礎手法であるKYT基礎4ラウンド法による危険予知訓練の進め方は、次表のとおりです。(厚生労働省 HP より一部抜粋)

ラウンド	危険予知訓練の4ラウンド	危険予知訓練の進め方
1R	どんな危険がひそんでいるか	イラストシートの状況の中にひそむ危険を発見し、 <u>危険要因とその要因がひきおこす現象を想定して出し合い、チームのみんなで共有する。</u>
2R	これが危険のポイント	発見した危険のうち、これが <u>重要だと思われる危険を把握して○印、さらにみんなの合意でしぼりこみ、◎印とアンダーラインをつけ「危険のポイント」とし、指差し唱和で確認する</u>
3R	あなたならどうする	<u>◎印をつけた危険のポイントを解決するにはどうしたらよいかを考え、具体的な対策案を出し合う</u>
4R	私達はこうする	対策の中からみんなの合意で絞り込み、 <u>※印をつけ「重点実施項目」とし、それを実践するための「チーム行動目標」を設定し、指差し唱和で確認する</u>

事例は機会をみつけ、後日スポーツに関するもので作ってみます。今回は KYT(危険予知トレーニング)とは何かとその取り組みステップの紹介にとどめます。

以上